

三邦丸バーチカルエギング



加太の海は、潮が入り乱れ友ヶ島水道の潮流は速いのが特徴である。その好漁場に、多種多彩な海の幸が存在する。イカの王様アオリイカも例外ではない。そんなアオリイカをターゲットとしてエギで狙っていく。

潮や風、人数の状況に応じ、どてら流し（船を横に流す方法）と、船を立てる（ジギングスタイル）方法を取る。船を立てた時の感覚は、ティップランの無風時の状態になる。しかし、船を前進させている為、ポイントは移動している。ティップラン精通している方は、一瞬戸惑われるかもしれないが、この釣り方を、マスターすると釣りの幅が広がることは間違いない。

エギ単体（ティップラン、バーチカルティップラン）

どてら流しの場合は、通常のティップランとなる。ウエイトは風と潮と水深により適宜調整する。

船を立てた場合は、先述したティップランの無風時状態になる。この場合ウエイト（エギを含む）は30～60gで行う。エギをフォールさせボトムを取るとほぼラインは、バーチカル（真下）に伸びる。しゃくり方は、7～8回巻きじゃくりティップランと同様が良いが、ステイさせるときにオートマチックにラインが張らない。そこでエギのステイ（止める動作）が重要となる。きっちりとステイさせることができるとあたりは、ティップラン同様に出る。横に誘わず、縦に誘うのも有効である。

胴突き仕掛け（ダウンショット）

どてら流しの場合は、この釣り方は、潮流の速いときに有効で、胴突き仕掛けの下に潮に合わせて15～30号の6角おもりをつける。すて糸は1m程取る。枝素を、1.5～2ヒロを取る。エギはノーマルのエギを使用する。しゃくり方は、大きくシャクリ止める中おもり式のしゃくり方でもよいが、ティップラン同様の巻きじゃくりでもよい。あたりは、ティップに明確に出る。

お助けリグ

こちらの釣りは、最近ティップランエギングの時にもよく使われるようになった同付き仕掛けの進化系である。下のおもりの代わりに、エギ（50～60g）を付け、上に2.5～3.0号のエギを付ける。この時、スナップだけを付けるか10cm程枝素を出してもよい。



中おもり式

この釣りは、多くの方が知っておられる釣り方である。中おもり15号～30号を用い大きくシャクリを入れあたりが出るのを待つ。次のしゃくりで乗っていたという事もある。ロッドでしゃくる際に、瞬間的にロッドを止めその反動でおもりを飛ばす事でより大きなアピールができる。エギはノーマルのエギが良い。

タックル

エギ単体

ロッド=オーシャンソード・スーパーセンシティブ71

リール=10ステラC3000

PE=G-SOUL0.4号

リーダー=GP-Z1.5号

エギ=ダートマックスTR30g+オーシャンシンカー20g

胴突き仕掛け

ロッド=オーシャンソード・ディープスキップ59

リール=07ステラ2500

PE=G-SOUL0.5号

リーダー=GP-Z1.5号

エギ=ダートマックス3.5号

6角おもり15号

中おもり式

ロッド=ジギングロッド・船竿

リール=両軸リール

PE=2.0号

リーダー=3.0号

中おもり15~30号

エギ=3.5号

マルキューエコギアフィールド

スタッフ 秋山智一

